

【西条】説明会困難でも新採職員へ個別に加入呼びかけを推進



西条市職労は4月8日、執行委員会を開催し15人が参加。新型コロナウイルスの影響でイベントなどの組合活動が困難となり、組合説明会・新採歓迎行事の中止も余儀なくされましたが、市職労四役・新採加入担当役員・青年部役員で分担して新採職員へ個別に組合加入を呼びかけ、新採20人が加入。また組合未加入者にも声をかけを継続し、昨年度新採1人も加入しました。今後さらに運動を進め、新採職員の全員加入をめざすことを確認しました。また職場状況について、今年度から会計年度任用職員は1日の勤務時間が短縮され、業務に支障が出て、結局時間外勤務で対応しているなどの報告がありました。

【久万高原】ニュースの発行、加入呼びかけ、新役員など課題を熱心に議論



久万高原町職は4月8日、執行委員会を開催し4人が参加。当局回答について「組合の要求で改善の成果もあつたことを伝えたい」と町職ニュースで知らせること、また新採職員への個別の声かけについて、対応リストを作成し、職場ごとに担

【今治】大変だからこそ『声』大切に 組合が求められる活動を



今治市職は4月20日、執行委員会を開催し9人が参加。はじめに新年度朝ビラ・新採職場オルグを報告。組織拡大では①「新入職員組合説明会」の少人数で開催、②未加入者へ「手紙&アンケート」配布、③会計年度任用職員制度スタート後の職場の声を集める「相談会」「アンケート」にと

【周桑病院】みんなで協力し業務に奮闘 定期的な情報交換の実施を



周桑病院労組は4月27日、執行委員会を開催し6人が参加。新型コロナウイルス感染拡大防止対策で職場では「患者との面会禁止」「病院内立ち入り禁止」で職員が物品の搬入搬出を行っているなど「大変な状況だが、みんなで協力し頑張っている」と報告がありました。

【内子社協】役員で定期大会開催方法を相談 子ども・保育園・自分を守る対策を



内子社協労組(ユニオン)は4月28日、定期大会に向け、三役で協議。今年度大会は新型コロナウイルス感染拡大防止から議案書を配布し、採決は用紙に記入し返信する方法に変更。また組織拡大では、職場の組合員が新採職員に声をかけ2人も組合へ加入したと報告がありました。

【県本部】感染拡大防止と新採加入など 執行委で情報交換し課題検討



県本部は4月18日、拡大執行委員会を感染防止対策を施して開催し10単組13人が参加。新型コロナウイルス感染拡大防止の各市町・単組でのとりくみと課題、会計年度任用職員制度開始後の職場状況、新採組合加入のとりくみ状況などを交流。感染拡大防止では「分散勤務」の提案

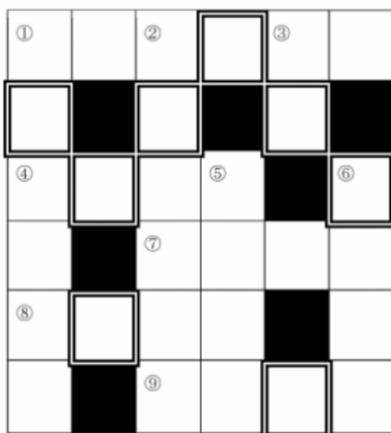
マス目を埋め、二重枠の8文字で、感染拡大防止で参加も苦慮...
 ■518号のパズルの答えは「トライアスロン」でした。正解は5通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを差し上げます。(敬称略)

【ヨコのカギ】

- ①学校で用いられる教科用図書
- ④香りが良いことから、鮎の異名
- ⑦郵便物を郵便局に保管。〇〇〇〇郵便
- ⑧多人数で物事に対処する。〇〇〇〇戦術
- ⑨沈むようにへこむ。陥没する。床が〇〇〇〇

【タテのカギ】

- ①税などで一定の金額を控除すること。〇〇〇〇〇〇額
- ②イソップ寓話の一。歩みがのろい...
- ③〇〇人、〇〇間、〇〇規採用
- ⑤天気雨を「狐の〇〇〇〇」とも
- ⑥進んでしようと奮いたつ。はりきる



出題者 堀川孝行

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

白石 聡(今治)
 越智紀幸(今治一般)
 井上 裕也(西予)
 青木 将吾(宇和島)
 小林弘樹(津島吉田)

【送り先】自治労連愛媛 県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】6月27日【発表】522号(7月号)

おたより ありがとう

■いつも通りに仕事をし、適度に運動をして、たまに街にお酒を飲みに行く。そんなありふれた日常が早く戻りますように。(今治・白石)

■暖かい日が続いているので、中山や双海のきれいな菜の花畑を見にドライブしたいです。(伊予・岡本)

■箭を握りに行き、5本程取れたのですが、取る最中に蚊の大群に襲われ大変でした。以前はそんなことなかったのに暖冬の影響でしょうか。(今治一般・越智)

■コロナで給食の仕事がないある日、地域の方がコロナで行き場を失った玉ねぎの収穫をしませんかと、たくさんいただきました。この玉ねぎ、早く給食に使える日がくるといいなと思いました。(西条・矢野)

■激ムズのパズルもやってみたいです！(西予・井上)

《今後の執行委員会の開催について》

県本部と県内単組との意思統一・情報共有の場として機関会議の機能は維持しつつも組合員の感染防止の対策も必要であるため、①毎月の執行委員会は原則開催を継続。②執行委員会は直接参加とweb会議併用を検討。③参加者の安全を最優先とし、参加は参加者の意思を尊重する、を基本にして開催します。